

梅雨明けしました！高温登熟対策の徹底をお願いします！

宮城県米づくり推進本部

令和6年8月1日

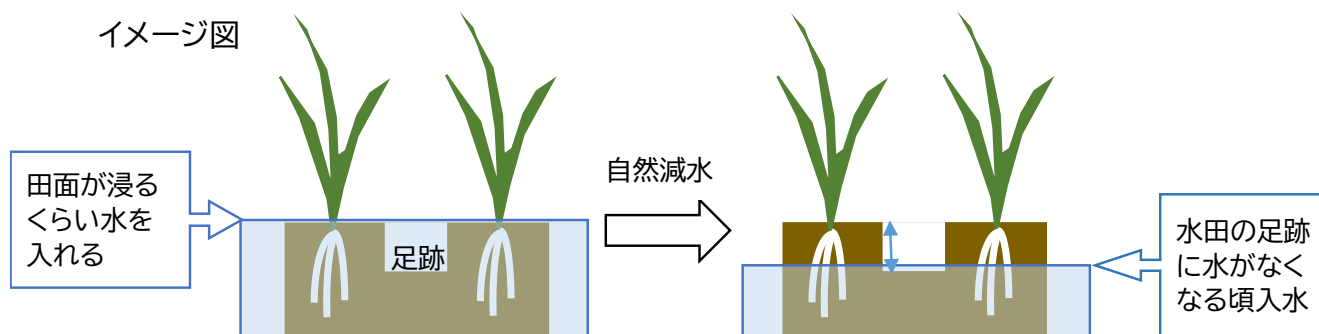
- 県内の水稲は7月24日に出穂始期、**7月29日に出穂期を迎えました**。出穂始期は平年より4日、**出穂期は平年より3日早く**なっています。
- 東北地方南部は8月1日頃に梅雨明けしたとみられます。
8月1日発表の東北地方の1か月予報によると、向こう1か月(8/3~9/2)の気温は高く、特に期間の前半は**気温がかなり高くなる**可能性があります。降水量は平年並みの見込みです。
- 登熟期間に高温に遭遇すると、白未熟粒の発生が多くなります。玄米の品質低下を避けるため、**土壌を湿った状態を保つ飽水管理**^{ほうすいかんり}を徹底し、地温の上昇を抑え、根の活力維持に努めましょう。
- **斑点米カメムシ類**が多く発生しています。「**穂揃期**」と「**1回目防除から7~10日後**」の**2回防除**が基本です。ほ場をよく観察し、適期に防除を実施しましょう。

○飽水管理

水田の足跡に水がなくなったら入水し、表土が十分湿ったら止水・自然落水する方法。

- ・間断かんがいより土壌が酸化的に保たれ、根の活性が高まる。
- ・湛水管理に比べると乳白粒や胴割粒の発生が軽減できる。
- ・用水不足が懸念されるときの水管理としても有効。
- ・**落水は出穂後30日以降**とし、登熟歩合の向上を図りましょう。

イメージ図



！注意！

フェーン現象などの異常高温の発生の恐れがあるときは、速やかにかん水し、ほ場が乾かないようにしてください。土壌表面に水がない状態でフェーン現象に遭遇すると、不稔や品質低下の危険性が高まります。

○斑点米カメムシ類対策について

今年、斑点米カメムシ類の発生量が多く、県病害虫防除所では、7月19日発行の「令和6年度発生予察情報注意報第1号」を発売し、注意を呼び掛けています。また、今年、出穂期が早まったこともあり、斑点米カメムシ類の発生時期と出穂時期が重なっています。適期防除の徹底をお願いします。

【防除適期の目安】

出穂期	1回目防除 (穂揃期)	2回目防除 (1回目防除から7-10日後)
7月29日	8月1日頃 (出穂期から3日程度)	8月8日～8月11日頃

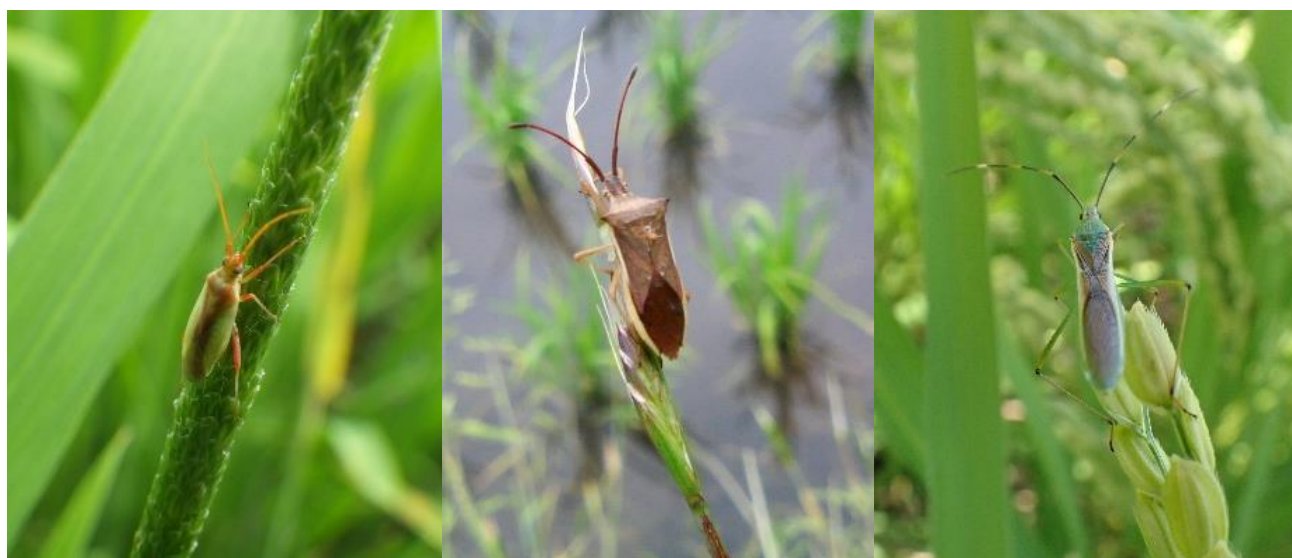


写真 アカスジカスミカメ

ホソハリカメムシ

クモヘリカメムシ

(提供:いずれも宮城県病害虫防除所7月19日発行 令和6年度発生予察情報「注意報第1号」より)

○熱中症にお気をつけください！

厳しい暑さが続きます。農作業時は水分補給や休憩時間を十分に確保するなどの熱中症予防と健康管理に十分注意してください。

特に、「熱中症警戒アラート」が発表されている日は、熱中症の危険性が極めて高いので、のどが渇く前にこまめに水分補給する、朝や夕方に作業を行うなど、いつも以上に積極的に熱中症の予防に努めてください。

農薬危害防止運動実施中！(6月1日～8月31日まで)

農薬による事故を未然に防ぎ、消費者の皆さんに安全・安心な農作物を届けるため、農薬は適正に使用しましょう。